



# 「DX」何から手を付けていいのかわからない？

## 0. デジタイゼーション

いわゆるIT化・OA化の進化版  
これまでアナログだったものをデータ化

### ファイルを共有するだけなら、まずはクラウド

ドロップボックスなどの「クラウドストレージ」は、エクセルやワードなどのファイルを、社内・社外どこからでも共有する第一歩です。



でも…そろそろ  
もう一歩進めなきゃ  
いけないんじゃない？

## 脱 Excel 紙やエクセル管理のままじゃダメなの？



外から見られない！  
集計も手計算！



集計はできるけど  
再利用できない！

エクセルで出来ることは、それでOKです。「そのファイルは全社で共有できているか？」や「野良エクセル」などの原始的な問題もありますが…(笑)そもそもエクセルは表計算ソフトなので、複数のファイルを組みあわせての集計や、入力したデータの再利用が難しいのです。もう一歩進めて「データベース」を使った、活用ができるようになってみませんか？

## 1. デジタイゼーション

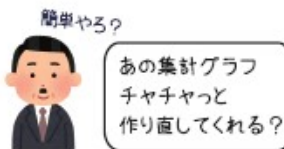
データを駆使できる仕組み作り  
新しい価値を生み出す取り組み

どんな職種でも  
を活用して  
DXできる！

- 検索機能で、スグに調べられる。
  - 顧客台帳で、取引履歴がわかる。
  - 営業台帳で、商談内容がわかる。
  - 経営判断が迅速にできる。
- 日常の出来事を記録するだけ！

例えばこんなこと…

中小企業  
あるある



資料はどこ！？



常に自動で集計できてる！



## 2. 情報の見える化

ステキ！

誰かの頭の中にしか情報がない？  
案件の管理が個人別になってる？

よくある事例

営業先の情報は、営業マンの頭の中にしかない。

はい！〇〇株式会社です。



見積もりをお願いしてただけでいくら？前回の金額で構わないから教えてもらえる？

え…そんなのわたし知らない…

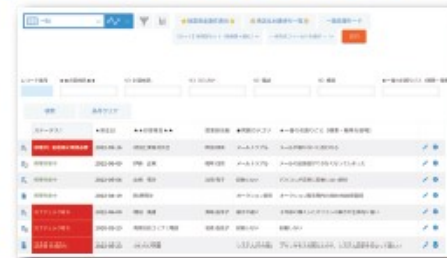


見積り客…営業さんのパソコンかな？私入社したばかりだし、前のことは…この人誰だろう？どうしよう…

す、すみません…



え一分からない？今の時代、請求書くらい誰でも分かるようにしてないの？危いでるんだけどなあ…



案件一覧を見れば、現在の状況が一目でわかります。見積りや対応履歴、過去の履歴も、誰でもすぐに確認できます。

## 3. 誰でも・どこでもできる化

誰かがいないと出来ない？  
会社じゃないと出来ない？



1人であれこれこなせる人がいるのはありがたい！でもその人じゃないと出来ない状態になっているのは「仕事」が属人化しているといわれます。「ザ・昭和！」と言われてしまうかも！？

そんな場合、どうするか？

やり方 誰でも出来る仕組みに

情報 クラウドシステムに集約

kintoneなら簡単に入力する仕組みを作ることができるので、難しい処理は自動化することで、これまで人に依存していた煩雑な作業を軽減することもできます。



分かりやすい仕組みにすることで、誰でも出来る。どこからでもアクセスできるので、仕事をする場所にも縛られません。

kintoneを中心に置いて、業務を改善する仕組みをつくと  
新しい働き方、新しい仕事、サービスを生み出すことができる！

